

オルトートルイジンによる 健康障害の防止措置を直ちに検討



厚生労働省の「化学物質のリスク評価検討会」では、毎年、化学物質による労働者の健康障害のリスク評価を行っています。このほど、「ヒトに対して発がん性がある」とされている「オルトートルイジン」に対する今後の対応について報告書がまとめられました。

〈検討結果概要〉

オルトートルイジンの有害性情報、製造・取扱状況、福井県の化学工場における膀胱がん発症に関する調査などを踏まえ、職業がんの予防の観点から、オルトートルイジンの製造・取扱作業について制度的対応を念頭に置いて、「化学物質による労働者の健康障害防止措置に係る検討会」などにおいて具体的措置を検討することが必要である。

報告書「オルトートルイジンに対する今後の対応」(全文)は、厚生労働省ウェブサイトに掲載されています。

当社では、作業環境測定に長年の実績と豊富な経験があります。ご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 平成 28 年 7 月 28 日付 厚生労働省報道発表資料

分析技術箇所 佐藤亮平